



けすぞう新聞

2025年2月発行
NO.86
播磨町消防団女性分団

観るも、見せるも、笑いも、学びも

播磨町ことぶき大学OB会

2025年2月5日ことぶき大学OB会の授業が播磨町中央公民館で開催されました。おおよそ100名の皆さんの前で、**防災啓発劇「救急車が来るまでにあなたにもできること～白雪姫編～」**を披露しました。白雪姫のお話にけすゾウ君が登場、魔女や小人を巻き込んで、背部叩打法、胸骨圧迫やAEDの使い方を説明しました。



AED応用編では小人さんが色々な状態で登場し、適切な使用法を説明しました。

おばあさん小人編では終始笑いが途切れず、記憶に鮮明に残ったことと思います。

物干し竿2本と毛布で作成した簡易担架で白雪姫を持ち上げると「おお～」と驚きの声と拍手が沸き起こりました。



シメに片肌を脱いで桜吹雪を見せ、拍子木を打ち鳴らすと笑いの渦に包まれました。



この冬一番の強い寒波が到来し、屋外は激しい冷え込みでしたが、公民館の中はたくさんの笑い学びが満載の時間になりました。

救急車を呼んでから到着まで、約10分。心停止の可能性のある傷病者を発見したら、**①応援を呼ぶ。119に連絡する**
②胸骨圧迫③AED装着④医療機関へ これらの連携が、社会復帰へと導きます。「救命の連鎖」が重要です。

「live support」ではなく「survive support」

～日常的な「生きる」には「live」、困難を乗り越える意味では「survive」～

兵庫県女性消防団員活性化研修 2025年2月16日「令和6年度兵庫県女性消防団員活性化研修」が三木市にある兵庫県広域防災センター(消防学校)にて実施されました。県内各地から集まった80名以上が参加のもと、尼崎市消防団「あまがさきファイアーフェアリーズ」が活動事例発表を行いました。

続いて一般社団法人リスクウォッチ代表 長谷川祐子氏による講演「新たな災害環境に対応する消防団のあり方」では、『災害時、女性消防団員目線での働き方』について、米国での危機管理体験を交えてご教示頂きました。



地震や自然災害が発生し、重い瓦礫の下に閉じ込められた被災者を救出する際、被災者を安全かつ迅速に救出するための重要な手法

1. 持ち上げ: この原理を利用して重い瓦礫を少しずつ持ち上げる。支点とレバーを使い、少ない力で大きな物体を動かせるのが特徴。
2. クリビング: 瓦礫の下に支えを設置して、持ち上げた瓦礫を安定させる技術。被災者の救助中に瓦礫が突然落下するリスクを軽減する。



お問合せ 播磨町企画総務部 危機管理課
電話番号: 079-435-0991

播磨町 女性分団

検索

私たちの活動、けすぞう新聞はこちら

